

花田っ子きらきら通信

姫路市立花田小学校
文責 校長 内海 行之

卒業を前に……

「縄文太鼓 ふれあい演奏会」

12日(月)の2校時、豊国集会所並びに姫路市総合センター東部ブロックが企画された催し「縄文太鼓 ふれあい演奏会」が体育館でありました。

縄文太鼓というのは、北海道の原土を用いて手ひねりで造形し、縄で文様を付け乾燥した後、野焼きをして焼き上げ、北海道ならではのエゾシカの革を張った北海道産の新たな楽器です。革は白なめしで、花田と縁の深いものと言えます。札幌圏から出土する縄文土器にヒントを得て創案されたものだそうです、私も初めて見ました。

演奏してくださったのは、札幌市在住の縄文太鼓演奏家 茂呂剛伸(もろ ごうしん)さんと3人の仲間。「縄文時代の人々は、土器を太鼓として使っていたのではないか。われわれのルーツである豊かな縄文文化を伝えたい」という太古への思いを込めて、演奏してくださいました。



エゾシカのしろなめしに直に触れてみました。



出雲大社本殿で奉納演奏された曲を聴きました。



剛伸さんの指導の下、アンサンブル演奏に挑戦しました。

愛校作業で窓ふき



「ようこそ先輩！」プロジェクト



15日(木)の5校時、6年生が北校舎の児童玄関および1階廊下の窓をきれいに磨いてくれました。しぼった雑巾で大方の砂ぼこりを取った後、乾いた新聞紙で仕上げていきました。普段の掃除では行き届かないところだけに、汚れもひどく、てこずっていましたが、窓がきれいになっていく様子がよく分かり、手ごたえを感じることができました。

「立つ鳥跡を濁さず」とはよくいったものです。中学校に飛び立つ前に自分たちの学び舎を美しく整えることは、今後も引き継がれていくことでしょう。

16日(金)は体育館において「ようこそ先輩！」プロジェクトを行いました。これは、中学校生活を紹介するとともに、中学生としての心構えやめあてを意識させるという目的で開いたものです。

先輩として来てくれたのは、進路がすでに決まっている寺尾 翔さんと佐野峯彩夏さん。二人のスピーチに共通していたのは、目標を持つことの大切さと、最後まであきらめないで挑み続けることの素晴らしさでした。

質問の時間もありました。中学校生活への期待をふくらませ、心構えとめあてを持つのに十分なひと時になったと思います。